

平成29年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属: 危機管理学部 危機管理学科

資格: 教授

氏名: 美濃輪 正行

研究課題		サイバー犯罪の傾向分析と危機管理モデルの考察
報告の概要	研究目的及び研究概要	<p>[研究目的] 日々変動するサイバー犯罪の傾向を把握して、それらに対抗するための様々な方策を考察、あるべき危機管理モデルを策定する。</p> <p>[研究の概要] 書籍、インターネット上の情報、学会、セミナー、様々な媒体から、サイバー犯罪の事象、特に従来には見られなかった犯罪形態の情報を収集し、手口の解析、形態の分類を試みる。更に事案分析の結果から組織や個人で考えられる対処法を検討する。これを整合性がとれた危機管理モデルとして実装するためにはどのような活動条件が求められるのかを考察する。</p>
	研究成果	<p>昨年に引き続き、科学技術振興機構のRISTEXに応募のため学校内のネット環境のいじめ対策として諸案を検討したが、結果は不採用となった。いじめのケースを収集して、それらを分析及びパターン分類した情報からアドバイス情報を生成、いじめ相談を受けた際にアドバイス情報を提供するフローでシステム構築を検討した。要件適宜や機能概要はまとめたものの、結論としてはいじめ通報ツールSop Itを核としたデータサイクルによるシステム及びその促進の形式を取るものとした。</p> <p>サイバー犯罪の対策としては、次年度に本学のコンピュータ情報リテラシで利用する教科書の「情報セキュリティと倫理」の章の情報セキュリティにかかる部分を執筆した。既存のセキュリティ解説書ではサイバー犯罪の技術項目の列挙となる傾向があり、危機管理の視点が不足しているが、これらの概念やサイバー犯罪の体系の理解を促進できるような構成となるよう配慮した。</p>
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	①著書: 谷口郁生/美濃輪正行 『課題解決のための情報リテラシ』、共立出版社、2018年3月31日発行予定。
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	なし
	・その他 *書評、雑誌投稿など 著書名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等	なし